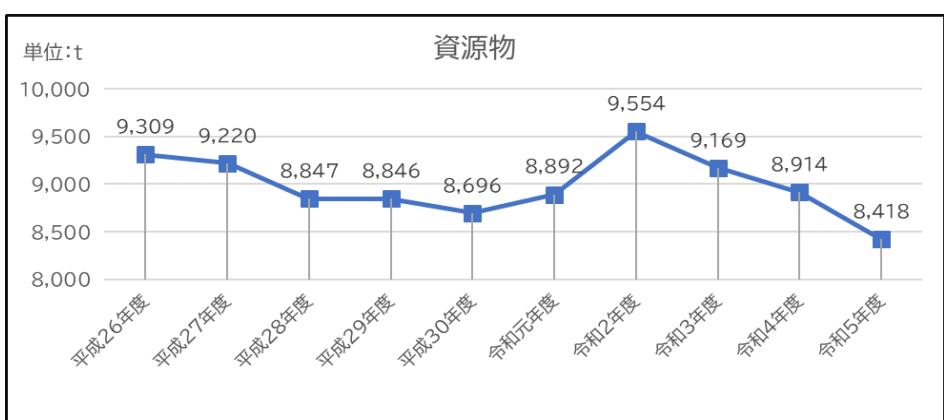
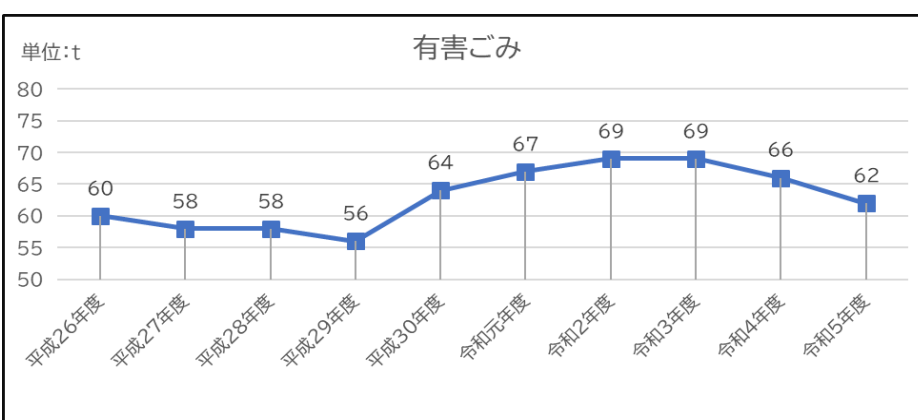
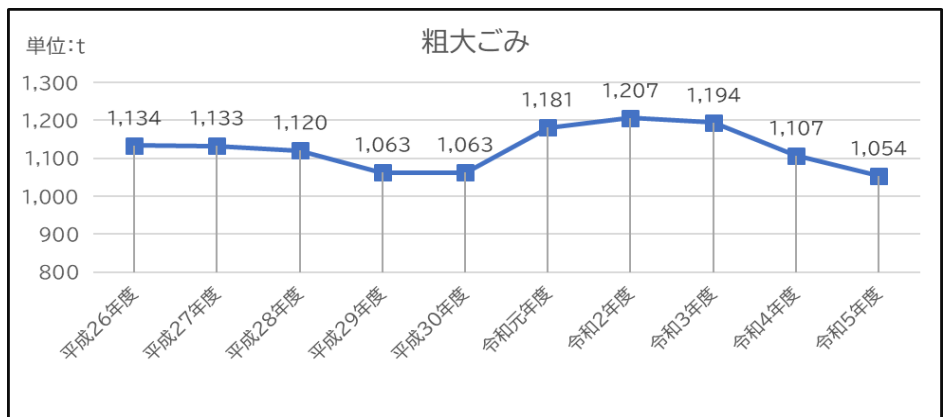
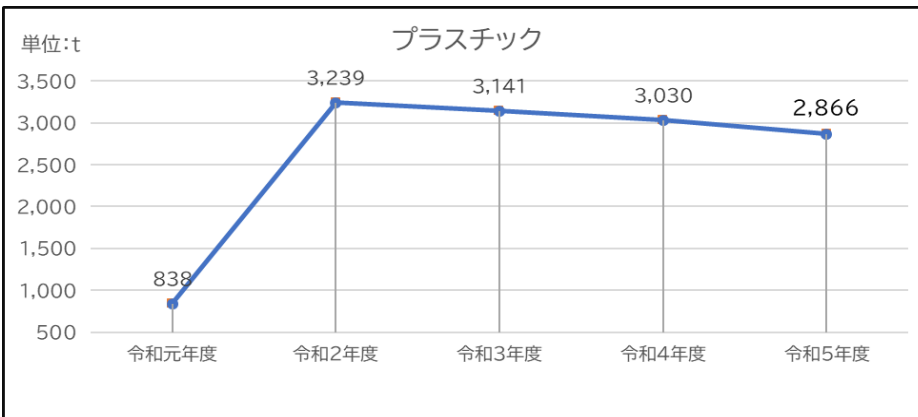
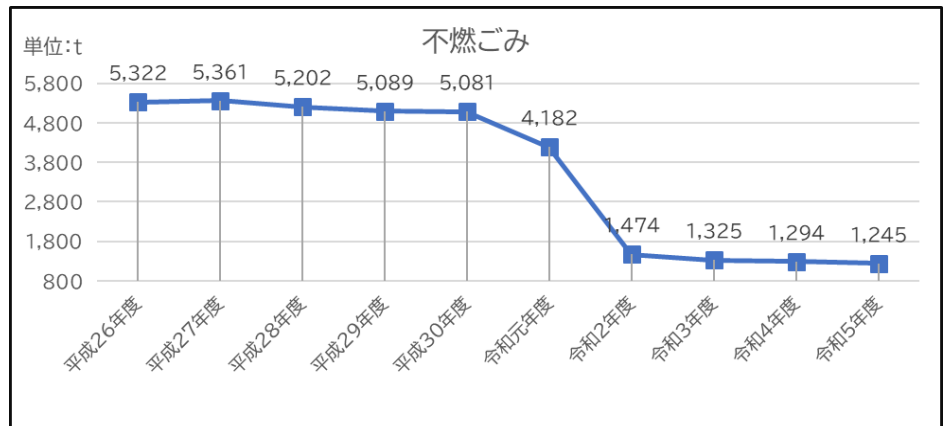
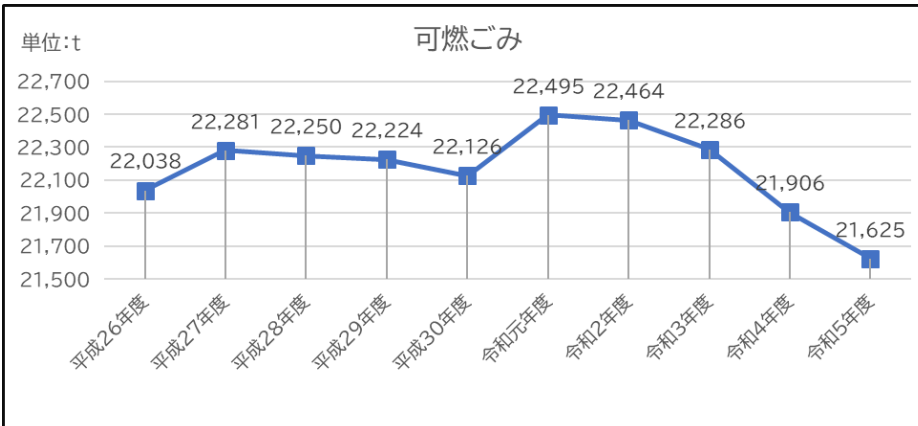
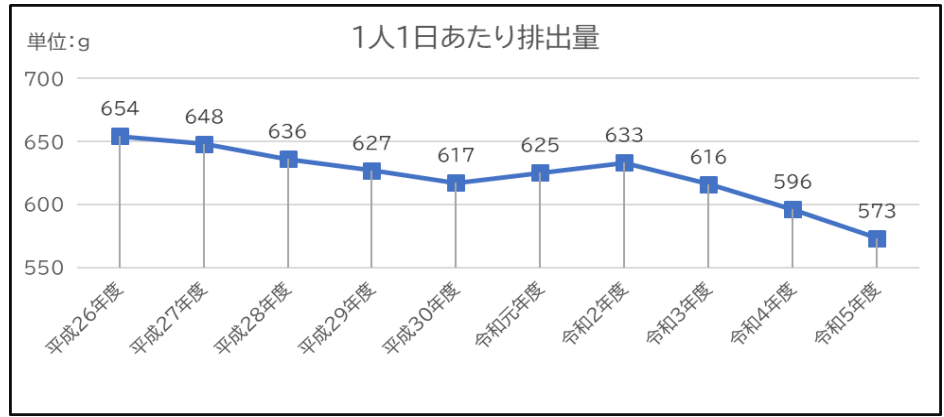
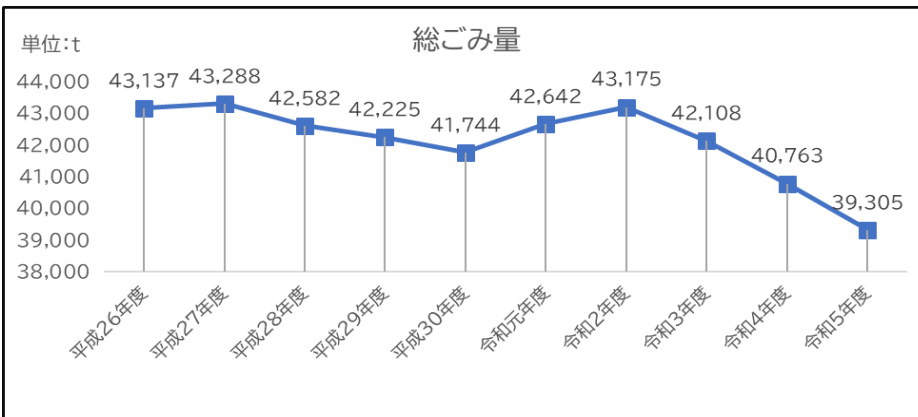


# ごみ量の10年推移 (H26～R5)

資料2



## 【総ごみ量】

◆人口の増加傾向が続く中、令和3年度に総ごみ量は減少に転じ、令和5年度も引き続き減少へ  
(R1:186,285人、R2:186,992人、R3:187,293人、R4:187,391人、R5:187,501人)

## 【1人1日あたり排出量】

◆コロナ禍の影響で令和元年度・2年度には一時的に増加となったが、令和3年度に再び減少に転じる。

令和5年度も引き続き減少となり、平成12年のごみ改革以降、最少値を達成

※環境省は令和6年3月に、令和4年度(2023年度)における全国の一般廃棄物の排出及び処理状況等の調査結果を発表し、日野市は人口10万人以上50万人未満の市町村で、「1人1日当たりのごみ排出量」が初めて全国1位の少なさとなりました。

## 【可燃ごみ】

◆日野市内の人口が微増傾向に関わらず、年々減少へ

◆ただし、令和元年度及び2年度は、コロナ禍の巣ごもり需要に伴い一時的に増加

## 【不燃ごみ】

◆令和2年1月(令和元年度)からのプラスチック収集開始により、令和2年度以降は大幅な減となり、その後も微減が続く

## 【資源物】

◆令和2年度は、コロナ禍により一時的に増加したものの、その後は減少の一途へ